

市長コメント

このたび、本市における国からの給付金事業において申請手続に誤りがあり、本来市が受けるべき交付金を受領できなかったことにつきまして、市民の皆様にご心よりお詫び申し上げます。

市長要求監査の結果、監査委員からは、申請手続における確認不足に加え、決裁過程を含めた組織としてのチェック体制が十分に機能していなかったことについて厳しいご指摘をいただきました。私はこのご指摘を真摯に、そして重く受け止めています。

職員の処分につきましては、分限懲戒審査委員会の審査結果を踏まえ、責任に応じた措置を講じることといたしました。また、副市長及び私自身は組織の責任者として、それぞれの責任の重さを踏まえ、自らの処分案を議会にお諮りいたします。

今後は、今回の事案を組織全体の教訓として、確認体制や業務執行体制を改めて見直し、チェック機能強化に向けた組織づくりを進めてまいります。

また監査委員からは、再発防止に取り組むだけでなく、市政運営の成果を着実に積み重ね、市民の期待と信頼に応えていくことが重要であるとのご指摘をいただきました。私はこのご指摘も重く受け止めています。

今回の事案を深く反省するとともに、再発防止策を着実に実行し、市役所全体としてより良い仕事を積み重ね、市民の皆様の期待と信頼に応えていくことで、その責任を果たしてまいります。